

令和5年度 入学式 式辞

新緑が輝きを増し、すがすがしい春の風が吹き抜けていく今日の良き日に、令和5年度島根県立出雲農林高等学校入学式を挙げていただくことは、誠に喜びに堪えないところでございます。ただいま入学を許可しました新入生160名の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。皆さんの本校への入学を私たち教職員並びに在校生一同、心から歓迎いたします。

本日も多用の中、ご臨席を賜りました耕魂会会長米山広志様、PTA 会長伊藤雅之様をはじめ来賓の皆様方に新入生の入学を祝福いただきますことを、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、本校は、昭和8年に島根県立今市農業学校として創立され、今年度創立90周年の節目の年を迎える伝統ある農業高校であります。この間、「耕魂 育命」を校訓とし、本校では、生命を育て、自らの魂を耕す「魂の教育」を旨としております。少子高齢化、国際化、環境問題、そして地方創生など様々な課題を抱え、刻々と変わる社会情勢の中、変わらず大切なものは、「生命に対する畏敬の念」「自然に対する感謝の気持ち」であろうと思います。本校では常に生命と向き合い、豊かな心の醸成に努めております。

また、本校は県内唯一の農業専科の高等学校であることから、農業教育のリーディングスクールであります。地域農業を支える人材、農業教育を支える人材等スペシャリストの育成が、本校に課せられた大きなミッションであると考えております。そうした本校に皆さんを迎えることができ、とてもうれしく思います。

皆さんは「人生100年時代」「Society 5.0」の到来に向け、大きく変っていく時代の中にいます。それに伴い人の働き方や生き方を含めた社会の構造までが激しく加速度的に変化していきます。

そうした今まで経験したことない状況に置かれたときに必要となる力が「適応力」です。進化論で有名なダーウィンの言葉に、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのではない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である。」とあります。激動する社会の中で生き残っていくために、変化に適応できる生き方を身につけなければなりません。「適応力」の具体的なスキルとして、「コミュニケーション能力」、「対人スキル」、「問題解決能力」、「発想力」、「思考力」、「チームワークスキル」、「情報整理力」などが挙げられます。皆さんは、本校での3年間の学びの中で、これらのスキルを着実に培っていくことができます。安心してください。私たち教職員は全力でサポートしていきます。

また、皆さんには、常に夢や目標を持ち続けていって欲しいと思います。本校のキャッチフレーズは、「見つけよう自分の力の可能性」です。出雲農林高校での3年間、皆さんはいろいろな目標に向かって、いろいろなことにチャレンジし続けて欲しいと願っています。人は夢や目標があるから諦めずに努力することができます。努力は最大の力だと私は思います。また、行き詰まったときこそ、「もうだめだ」ではなく「だったらこうしてみよう」とプラス思考で考えることも大切です。皆さんには、夢や目標を思い続け、諦めずに、くじけそうになった時はプラス思考で考え、夢を叶えていって欲しいと願っています。

最後に保護者の皆様にはお願いです。お子様の成長のためには保護者の皆さまと学校がお互いに連携しながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切となります。どうか保護者の皆様におかれましても温かいご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

これからの時代を担っていく新入生の皆さんが、今日の感激を胸に刻み、心身とも健康で明るく、目標に向かって学校生活を送れますよう心よりお祈りしまして、式辞といたします。